

## 城陽市障がい者自立支援協議会の取り組みについて

# 全体の取り組み報告

## 市民講座

### 幼児期に課題がある子どもへの支援 ～ 発達特性と知的な遅れへのアプローチ ～

配信期間：令和3年11月5日（金）～11月19日（金）

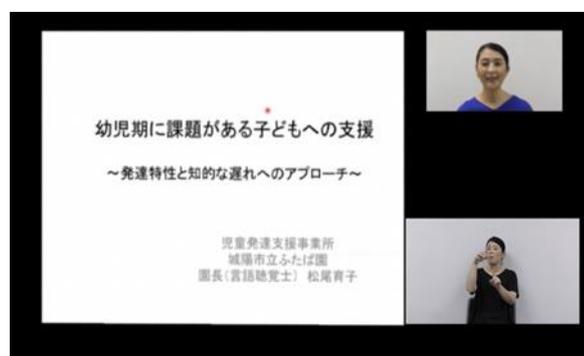
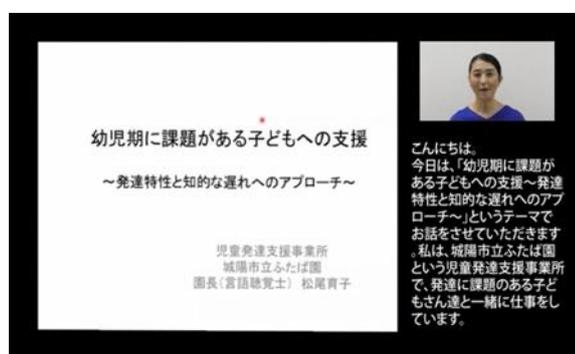
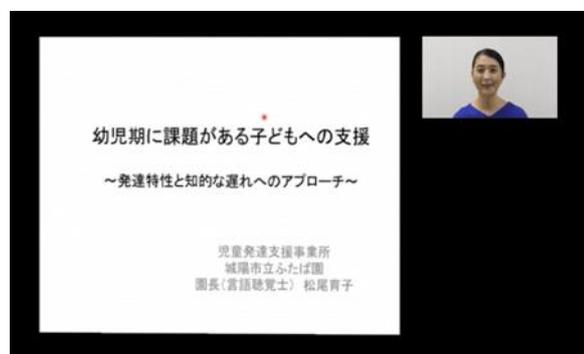
配信方法：YouTube（城陽市公式チャンネル）で公開

講師：城陽市立 心身障害児通園施設 ふたば園 園長 松尾 育子氏

内容：子どものことばが遅かったり、友達と遊べなかったりすることで不安を感じておられる親御さんたちへ、子どもとの接し方や言葉かけのコツ、注意点など年齢に応じた関わり方のポイントについて。また関わる大人が知っておくべき障がいのことや心構えなどを詳しくご講演いただきました。

結果：今年度市民講座を開催するにあたり、新型コロナウイルス感染拡大もあり初の期間限定インターネット配信を行いました。動画は通常版・字幕付き版・手話通訳付き版の3パターンの動画を配信しました。

2週間の配信で全体視聴者数は601人。内訳は通常309人、字幕付き170人、手話通訳付き122人となっています。



## 各部会の取り組み

サービス調整部会

精神保健福祉部会

聴覚言語障がい支援部会

療育部会

就労部会

年度	令和2年度
部会名	サービス調整部会

	事業内容	根拠規定
事業計画	事例検討を通して意見交換等を行い、支援のあり方やサービス調整を検討する。また好事例についても共有し支援の向上を図る。	規約第2条第1、2号
	学習会や事業所見学会を行い、部会構成員のスキル向上と地域資源の把握・理解を目指す。	規約第2条第2、3号
	福祉施設入所者の地域生活の移行について、移行率の現状調査と共有を行い、地域移行の推進に向けての情報交換を図る。	規約第2条第3号

年間スケジュール	
令和2年4月	
5月	○第1回部会 ・コロナ禍のため中止。
6月	
7月	○第2回部会 ・コロナ禍のため中止。
8月	
9月	
10月	○第3回部会 ・コロナ禍のため中止。
11月	
12月	
令和3年1月	
2月	○分会 22日 (事業所6団体/19団体) ・リモート (Zoom) での開催。 ○第4回部会 26日 (事業所11団体/19団体) ・リモート (Zoom) での開催。 ①コロナ禍における苦労、感染対策、テレワーク実施等の取り組みについて共有。 ②感染対策については、各機関とも徹底して取り組みで感染予防に努めていることを確認。

	<p>③感染対策に役立つ機器やグッズの紹介と共有。</p> <p>④テレワーク実施は難しい機関が多かった。通所事業所では利用者の作業を在宅で行う等の取り組みが見られた。</p> <p>⑤次年度予定、リモート開催についての周知と確認。</p>
3月	

年度	令和3年度
部会名	サービス調整部会

	事業内容	根拠規定
事業計画	事例検討を通して意見交換等を行い、支援のあり方やサービス調整を検討する。また好事例についても共有し支援の向上を図る。	規約第2条第1、2号
	学習会や事業所見学会を行い、部会構成員のスキル向上と地域資源の把握・理解を目指す。	規約第2条第2、3号
	福祉施設入所者の地域生活の移行について、移行率の現状調査と共有を行い、地域移行の推進に向けての情報交換を図る。	規約第2条第3号

年間スケジュール	
令和3年4月	
5月	<p>○第1回部会 21日（事業所14団体／19団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リモート（Zoom）での開催。</li> </ul> <p>①部会長、副部会長の選出、今年度の活動目的・予定の確認</p> <p>②事例発表「行動障害が激しい方への入浴支援を通して」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんななかま 土居氏より事例発表。</li> <li>・40代後半の当事者を80代の保護者が支えており、近い将来を見据えた地域生活支援の必要があるケース。</li> <li>・自宅での入浴が困難な為、通所施設での入浴支援を行っているがマンパワー不足により、支援者が増えないので外部の支援機関からのサポートを求めている。</li> <li>・行動障がい（自傷、他害）が激しい為、二人介護が必要。訪問入浴サービス利用も困難。行動援護利用によるヘルパー支援が可能か検討。</li> <li>・他の通所施設やショートステイ等の利用も検討し、地域生活を支えていくような方向性で考える。</li> </ul>
6月	
7月	<p>○第2回部会 9日（事業所14団体／19団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リモート（Zoom）での開催。</li> </ul> <p>①事例発表「暮らしを支える成年後見制度について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人 福祉・後見センター京都東 妻木氏より事例発表。</li> <li>・成年後見制度について事例をもとに学ぶ。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に後見人等とのやり取りでの苦労や疑問などを妻木氏に質問し、情報の共有を行う。</li> </ul>
8月	
9月	
10月	<p>○第3回部会 15日（事業所14団体／19団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リモート（Zoom）での開催予定。</li> </ul> <p>①事例発表「重症心身障がい者のグループホームについて」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人こもれび グループホームぽかぽか 白土氏より事例発表。</li> <li>・現在、城陽市内にはない重症心身障害者の方が暮らすグループホームの実践を聞き、今後の重度障害者の地域生活支援について考える。</li> <li>・既存の設備等では使いづらく、利用者に合わせたオーダーメイドの設備、建具などの工夫を聞く。</li> </ul>
11月	
12月	
令和4年1月	
2月	<p>○第4回部会 18日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイブリッド形式（対面＋Zoom）での開催検討。</li> </ul> <p>①事例発表「医療的ケア児・者の地域での受け止め方」</p>
3月	

年度	令和2年度
部会名	精神保健福祉部会

	事業内容	根拠規定
事業計画	事例を通して支援のあり方の検討や制度、資源などの情報共有に取り組む。	規約第2条第1号
	学習会を行う。	規約第2条第2号

年間スケジュール	
令和2年4月	
5月	○第1回部会 ・コロナ禍のため中止。
6月	
7月	○第2回部会 ・コロナ禍のため中止。
8月	
9月	
10月	
11月	○第3回部会 ・コロナ禍のため中止。
12月	
令和3年1月	
2月	○第4回部会 ・コロナ禍のため中止。
3月	

年度	令和3年度
部会名	精神保健福祉部会

	事業内容	根拠規定
事業計画	事例を通して支援のあり方の検討や制度、資源などの情報共有に取り組む。	規約第2条第1号
	学習会を行う。	規約第2条第2号

年間スケジュール	
令和3年4月	
5月	○第1回部会 28日（事業所6団体／11団体） ・リモート（Zoom）での開催。 ①今年度の部会について（構成員、部会長、副部会長の確認） ②事業所間での情報交換 ・コロナ禍における事業所運営や利用者への影響等について。
6月	
7月	○第2回部会 30日（事業所7団体／11団体） ①意見交換会「警察と福祉が互いの制度や情報、役割を共有し交流する」 ・城陽警察署生活安全課、交通課の署員参加。 ・精神障がいのある人との関わりについて、どのように対応しているか、自傷他害の恐れがある場合の通報、安否確認、保健所など各機関との連携、苦慮している点、服薬時の運転の危険性などについて等様々なことについて意見交換を行った。
8月	
9月	
10月	
11月	○第3回部会 26日（事業所9団体／11団体） ①事例発表「介入が困難な家庭への支援について」 ・現在複数の福祉サービス（通所、居宅介護、訪問看護等）を受けているがそこに至るまでに年月を要し、本人の状態により左右されることの困難さや5080問題等、他の事業所にも共通する課題があるケースについて発表し意見交換を行った。
12月	
令和4年1月	○第4回部会 28日 ・事例検討。
2月	
3月	

年度	令和2年度
部会名	聴覚言語障がい支援部会

	事業内容	根拠規定
事業計画	防災学習会の第2弾の取り組み。	規約第2条第2号
	聴覚障がい者災害マニュアルの改訂と普及方法の検討。	規約第2条第2号
	聴覚障がい者への情報提供についての検討。	規約第2条第1号
	啓発事業の到達と今後についての検討。	規約第2条第4号

年間スケジュール	
令和2年4月	
5月	○第1回部会 27日 (事業所9団体/9団体) ・コロナ禍により文書会議。 ①自立支援協議会報告。 ②部会員名簿確認。 ③部会方針と取り組み確認。
6月	○第2回部会 10日 臨時会議 (事業所9団体/9団体) ・コロナ禍により文書会議。 ①「城陽市地域防災計画」見直しに係るアンケート実施、結果を城陽市福祉課に回答。(災害の情報を得るために有効な機器について、アイドラゴン、目で聴くテレビ、城陽市安心安全メール、ファクス、スマホ) ②今後、災害について、あったほうがよい機器や制度などがあれば記入、防災計画全般についての意見。
7月	○第3回部会 10日 (事業所9団体/9団体) ①自立支援協議会報告。 ②部会員名簿確認。 ③城陽市地域防災計画の読み合わせ。 ④部会方針と取り組み確認。 ⑤「城陽市聴覚障がい者災害マニュアル」見直しについて。
8月	
9月	○第4回部会 16日 (事業所9団体/9団体) ①自立支援協議会報告。 ②「城陽市聴覚障がい者災害マニュアル」改定、普及方法について。 ③聴覚障がい者の災害時のビブスについて。 ④部会員構成について。

	⑤部会員メーリング登録について (google)
10月	
11月	○第5回部会 30日 (事業所9団体/9団体) ①自立支援協議会報告。 ②「城陽市聴覚障がい者災害マニュアル」見直しについて。 ③聴覚障がい者の災害時のビブスについて。 ④部会員メーリング登録について (google)
12月	
令和3年1月	○第6回部会 ・コロナ禍のため中止。
2月	
3月	○第7回部会 ・コロナ禍のため中止。

年度	令和3年度
部会名	聴覚言語障がい者支援部会

	事業内容	根拠規定
事業計画	防災学習会の第2弾の取り組み。	規約第2条第2号
	聴覚障がい者災害マニュアルの改訂と普及方法の検討。	規約第2条第2号
	聴覚障がい者への情報提供についての検討。	規約第2条第1号
	啓発事業の到達と今後についての検討。	規約第2条第4号

年間スケジュール	
令和3年4月	
5月	○第1回部会 25日 (事業所9団体/9団体) ・コロナ禍により文書会議。 ①今年度の部会員確認。 ②今年度の事業計画について。 ③部会でしたいことについて。 ④Zoom 会議導入について。
6月	
7月	
8月	○第2回部会 4日 (事業所7団体/9団体) ①城陽みどりのテント事業報告。 ②城陽市手話施策推進会議委員推薦について。 ③今年度部会方針と取り組み案確認。 ④災害時ケアプラン検討。
9月	○第3回部会 13日 ・コロナ禍のため延期。 ○第3回部会 22日 ・コロナ禍のため中止。
10月	
11月	○第4回部会 5日 (事業所5団体/9団体) ①城陽市手話施策推進会議報告。 ②災害時ケアプラン検討。
12月	
令和4年1月	○第5回部会
2月	
3月	○第6回部会

年度	令和2年度
部会名	療育部会

	事業内容	根拠規定
事業計画	市内事業所の障がい児支援における課題等の共有化と解決方法の協議を行う。	規約第2条第1、2、4号
	障がい児支援に関わる学習会を行い支援の向上を図る。	規約第2条第3号

年間スケジュール	
令和2年4月	
5月	○第1回部会 ・コロナ禍のため中止。
6月	
7月	○第2回部会 ・コロナ禍のため中止。
8月	
9月	
10月	○第3回部会 ・コロナ禍のため中止。
11月	
12月	
令和3年1月	
2月	○第4回部会 ・コロナ禍のため中止。
3月	

年度	令和3年度
部会名	療育部会

	事業内容	根拠規定
事業計画	市内事業所の障がい児支援における課題等の共有化と解決方法の協議を行う。	規約第2条第1、2、4号
	障がい児支援に関わる学習会を行い支援の向上を図る。	規約第2条第3号

年間スケジュール	
令和3年4月	
5月	
6月	<p>○第1回部会 14日（事業所19団体／23団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リモート（Zoom）での開催。</li> </ul> <p>①コロナ渦での支援状況や課題について学習会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都障害児放課後活動パッチワーク代表 京都教育大学准教授 丸山 啓史氏。</li> <li>・京都障害児放課後活動パッチワークに参加をする城陽市を含めた京都府内20か所の放課後等デイサービス事業所、288名の保護者から回答を得た、令和2年6月～7月実施「コロナ休校のもとの生活に関するアンケート」結果について報告を頂き、コロナ渦での各事業所での支援状況や課題について情報交換を行った。</li> </ul>
7月	
8月	
9月	<p>○第2回部会 24日（事業所17団体／23団体）</p> <p>リモート（Zoom）での開催予定。</p> <p>①事例検討会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援センターういるより事例発表。</li> <li>・母子家庭で母子双方に支援が必要なケースについて、支援の在り方や必要な地域資源について検討を行った。</li> </ul>
10月	
11月	<p>○第3回部会 22日（事業所19団体／24団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リモート（Zoom）での開催。</li> </ul> <p>①事例検討会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わいわいプラス城陽教室より事例発表。</li> <li>・高校生事例を通して、放課後等デイサービスが担う役割や思春期の悩みへの寄り添い方について検討を行った。</li> </ul>

	<p>②若年者等就労支援拠点サザン京都の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サザン京都 筑井氏より発表。</li> <li>・サザン京都での支援内容や活用方法について紹介頂き、「はたらく」をキーワードに高校卒業前から利用できる相談の場とし周知を行った。</li> </ul>
12月	
令和4年1月	<p>○第4回部会 17日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例検討会。</li> </ul>
2月	
3月	

年度	令和2年度
部会名	就労部会

	事業内容	根拠規定
事業計画	協力事業との連携を深めていく取組みを企画し、働くイメージ作りのための基礎研修を行う。	規約第2条第3号
	一般就労に向けての検討と、斡旋を行う。	規約第2条第1号

年間スケジュール	
令和2年4月	○第1回部会 ・コロナ禍のため中止。
5月	○事務局会議 ・コロナ禍のため中止。
6月	○第2回部会 ・コロナ禍のため中止。
7月	○事務局会議 ・コロナ禍のため中止。
8月	○第3回部会 ・コロナ禍のため中止。
9月	○事務局会議 ・コロナ禍のため中止。
10月	○第4回部会 ・コロナ禍のため中止。
11月	○事務局会議 ・コロナ禍のため中止。
12月	○研修会開催 ・コロナ禍のため中止。
令和2年3月	○事務局会議 ・コロナ禍のため中止。
2月	○第5回部会 ・コロナ禍のため中止。
3月	○事務局会議 ・コロナ禍のため中止。

年度	令和3年度
部会名	就労部会

	事業内容	根拠規定
事業計画	各事業所からの事例発表を共有し、課題解決にむけて検討すること。	規約第2条第4号
	企業や学校の状況及び情報を共有し、連携を深めること。	規約第2条第3号

年間スケジュール	
令和3年4月	
5月	○事務局会議 25日
6月	○第1回部会 22日 (事業所8団体／11団体) ①令和3年度体制について ・部会構成員の確認。 ・部会長の選出。 ・副部会長の選任。 ②令和3年度計画について ・上記事業計画の確認。 ・部会開催日の確認。 ・事例発表日の調整。 ③事例発表 ・みんななかまより事例発表。
7月	
8月	○事務局会議 24日 (部会長1名・副部会長1名)
9月	○第2回部会 8日 (事業所11団体／11団体) ・リモート (Zoom) での開催。 ①事例発表 ・城陽支援学校の発表。 ・野の花の発表。
10月	○事務局会議 18日 (部会長1名・副部会長1名)
11月	○第3回部会 10日 (事業所10団体／12団体) ①事例発表 ・宇治支援学校の発表。 ・城陽作業所の発表。 ・あっぶの発表。
12月	○事務局会議 20日 (部会長1名・副部会長1名)
令和4年1月	○第4回部会 12日 (事業所8団体／12団体)

	①事例発表 ・魁の発表 ・はびねすの発表
2月	
3月	

## 各部会の構成員

サービス調整部会（19団体）

構成員の資格	事業所名等	設置主体（経営主体）
共同生活援助事業所	！- apartment	(福) エクスクラメーション・スタイル ・キョウト
居宅介護事業所	指定居宅介護事業所チャレンジ	(特非) ちゃれんじ
居宅介護事業所	社会福祉法人城陽市社会福祉協議会 訪問介護センター	(福)城陽市社会福祉協議
居宅介護事業所	ヘルパーステーション スイート	(株) たくみ
居宅介護事業所	ヘルパーステーション そらいろ	(特非) ゆう・さぼーと
施設入所支援	社会福祉法人京都府社会福祉事業団 京都府立心身障害者福祉センター	(福)京都府社会福祉事業団
施設入所支援	障害者支援施設あんびしゃ	(福)京都梅花園
就労継続支援 B 型事業所	ワークショップ野の花	(特非)城陽市の精神保健福祉をすすめる会 野の花
生活介護事業所	青谷学園	(福)青谷学園
生活介護事業所	城陽作業所	(福)うめの木福祉会
生活介護事業所	知的障害者デイサービスセンター あっぷ	(福) 南山城学園
生活介護事業所	独立行政法人国立病院機構南京都病院 多機能型通所事業所しらうめ	(独) 国立病院機構南京都病院
相談支援事業所	在宅福祉支援センター 相談支援事業所TOMO	(福) 京都府社会福祉事業団
相談支援事業所	障害者生活支援センターはーもにい	(福) 南山城学園
相談支援事業所	相談支援事業所 Equal	(特非) 朔日の会
相談支援事業所	相談支援事業所 みんななかま	(福) みんななかま
相談支援事業所	相談支援事業所リーフ	(特非) で・らいと
特別支援学校	京都府立宇治支援学校	京都府
障がい福祉主管課	城陽市福祉課	城陽市

精神保健福祉部会（11団体）

構成員の資格	事業所名等	設置主体（経営主体）
家族会	城陽市精神家族会 アルプス	城陽市精神家族会
共同生活援助事業所	！- apartment	(福) エクスクラメーション・スタイル ・キョウト
共同生活援助事業所	城陽作業所	(福) うめの木福祉会
居宅介護事業所	指定居宅介護事業所チャレンジ	(特非) ちゃれんじ
居宅介護事業所	社会福祉法人 城陽市社会福祉協議会 訪問介護センター	(福)城陽市社会福祉協議

居宅介護事業所	ヘルパーステーションそらいろ	(特非) ゆう・さぼーと
就労継続支援事業所	チェリー工房	(特非) で・らいと
就労継続支援事業所	ワークショップ野の花	(特非) 城陽市の精神保健福祉をすすめる会 野の花
相談支援事業所	障害者生活支援センター プラム	(特非) で・らいと
訪問看護事業所	訪問看護ステーションデューン宇治	(株)N. フィールド
障がい福祉主管課	城陽市福祉課	城陽市

#### 聴覚言語障がい支援部会（9団体）

構成員の資格	事業所名等	設置主体（経営主体）
当事者団体	城陽市難聴者協会	城陽市
当事者団体	城陽市ろうあ協会	城陽市
支援団体	城陽市手話サークル「てまり」	(福)社会福祉協議会
支援団体	城陽市手話サークル「めだか」	(福)社会福祉協議会
支援団体	城陽市手話通訳者会	城陽市
支援団体	城陽市要約筆記者会	城陽市
支援団体	城陽要約筆記サークル「ダンボ」	(福)社会福祉協議会
相談支援事業所	聴覚障害者生活支援センター はーもにい	(社福)京都聴覚言語障害者福祉協会
障がい福祉主管課	城陽市福祉課	城陽市

#### 療育部会（24団体）

構成員の資格	事業所名等	設置主体（経営主体）
居宅介護事業所	指定居宅介護事業所 チャレンジ	(特非) ちゃれんじ
居宅介護事業所	社会福祉法人 城陽市社会福祉協議会 訪問介護センター	(福)城陽市社会福祉協議
居宅介護事業所	ヘルパーステーションそらいろ	(特非) ゆう・さぼーと
居宅介護事業所	シンクワズライフオフィス汽車ぽっぽ	(株) for one
教育委員会	城陽市教育委員会	城陽市
児童発達支援事業所	PARC じょうよう	(株) メディケア・リハビリ
児童発達支援事業所	ふたば園	城陽市
相談支援事業所	障害児(者)地域療育支援センターういる	(福)南山城学園
相談支援事業所 聴覚障害者情報提供施設	京都府聴覚言語障害センター	(福) 京都聴覚言語障害者福祉協会
相談支援事業所	わいわい相談支援事業所	(同) トゥモロー
短期入所事業所	シンクワズライフオフィス汽車ぽっぽ	(株) for one
特別支援学校	京都府立宇治支援学校 地域支援センターうじ	京都府

放課後等デイサービス事業所	PARC ウィル城陽	(株) メディケア・リハビリ
放課後等デイサービス事業所	放課後等デイサービス オーロラ教室	(特非) 志塾フリースクールきょうと
放課後等デイサービス事業所	放課後等デイサービス きりん	(特非) 朔日の会
放課後等デイサービス事業所	放課後等デイサービス きりんくらぶ	(特非) 朔日の会
放課後等デイサービス事業所	放課後等デイサービス みんなのいえ	(福) みんななかま
放課後等デイサービス事業所	放課後等デイサービス マカロニペンギン	(福) つむぐ
放課後等デイサービス事業所	ゆうゆう青谷教室	(株) TM
放課後等デイサービス事業所	わいわいプラス 梅の里教室	(株) オーエスジー
放課後等デイサービス事業所	わいわいプラス 城陽教室	(株) ワイズ
放課後等デイサービス事業所	わいわいプラス 寺田教室	(株) ワイズ
放課後等デイサービス事業所	わいわいプラス 富野教室	(株) ワイズ
障がい福祉主管課	城陽市福祉課	城陽市

### 就労部会（12団体）

構成員の資格	事業所名等	設置主体（経営主体）
一般企業	株式会社 ナプラス	(株) ナプラス
就労継続支援事業所	Glow	(合) サニーサイド
就労継続支援事業所	障害者支援施設 魁	(福) 南山城学園
就労継続支援事業所	城陽作業所	(福) うめの木福祉会
就労継続支援事業所	ものづくりスペース みんななかま	(福) みんななかま
就労継続支援事業所	ワークショップ野の花	(特非) 城陽市の精神保健福祉をすすめる会 野の花
障害者就業・生活支援センター	障害者就業・生活支援センター はびねす	(福) 南山城学園
城陽障がい者就労促進 ・自立支援ネットワーク	城陽障がい者就労促進・自立支援 ネットワーク	障害者就労促進授産ネットワーク
生活介護事業所	知的障害者デイサービスセンターあつぶ	(福) 南山城学園
特別支援学校	京都府立宇治支援学校	京都府
特別支援学校	京都府立城陽支援学校	京都府
障がい福祉主管課	城陽市福祉課	城陽市